

一般質問

つづき

海の生態科学館の建設

本問 新 議員
はこだて市民クラブ

問 海の生態科学館の建設は、財政状況を見通して市民理解を得て推進するとしているが、後の世代に負の遺産を残さないよう慎重に取り組みとともに、今、提示している海の生態科学館基本構想(案)を洗い直す考えはないか。また、中長期的な計画と云っているが、何年をめどに考えているのか。

答 私が当選した場合、当面、財政の健全化に全力を傾け、財政状況に一定のめどが立った時点で、改めて議会をはじめ市民の意見を伺い理解を得た上で、慎重に取り組んでまいりたい。

また、仮に事業に着手した場合、完成までに4年程度は要する見込みであることから、事業としては、中長期的な取り組みになるものと考えている。
(答弁者 市長)

その他の主な項目
新幹線建設着工に伴う問題
有料老人ホーム建設計画

海域における環境保全

竹越 勝昭 議員
南かやべ議員団

問 当地域は、日本一を誇る昆布産地であり、天然・養殖も含めて、昆布の安定生産を図るうえで、漁場の環境調査が必要と考えている。

答 環境基本条例では、良好な水環境を保全するため、海域、河川等の水質の保全に必要な措置を講じるとなっているが、海域や河川の水質汚濁の現状はどうか。

4支所管内の河川では、自然由来のヒ素含有が認められる2水系において、ペーハーとヒ素が環境基準に適合していない状況である。今後とも、事業所の監視・指導を継続するとともに、

住宅の下水道普及、合併処理浄化槽設置の助成などにより、海域や河川の汚濁防止に取り組んでまいりたい。
(答弁者 環境部長)

その他の主な項目
観光振興
山村留学
安全安心のまちづくり

ツツジの維持管理

佐藤 末光 議員
恵山議員団

問 恵山山麓には60万本と言われるツツジが植生しており、函館市全体にとっても大切な観光資源であり、このツツジの保全と健全な生育を図るため、必要最低限の範囲においてツツジの生育に影響を及ぼ

す樹木の伐採も維持管理作業の中で必要ではないかと考えている。道立自然公園の規制等があるとは思いますが、考えを伺いたい。

答 恵山道立自然公園を規制しており樹木の伐採等を行う場合は知事の許可が必要となっている。ツツジの健全な育成を目的とした伐採については、具体的な申請内容を検討の上、判断することから、北海道とも協議の上、ツツジ群の適切な維持管理に取り組んでまいりたい。
(答弁者 土木部長)



恵山のツツジ

市民の健康づくり対策

合併町村の今後のまちづくり

その他の主な項目

温泉の現状と今後の対策

阿部 善一 議員
民主・市民ネット

問 温泉は重要な観光資源の一つであるが、大型浴場やホテル建設により将来温泉源の減少や枯渇が危惧されるので、市内の温泉源の実態を伺いたい。また、湯川温泉は過去の

データから温泉の水位が低下していることは明らかであり、早急な対策を講じなければならぬ状況であると思うが、どのように考えているのか。

答 市内の源泉数は、平成17年度末で73本、湧出量は一日あたり約1万6700立方メートルとなっている。

また、今後の対策については、温泉の適正量に関する調査結果が3月末に最終報告されることから、それを受けて議会や関係機関等にも報告し、温泉資源の保護の観点から対策を協議する必要があると考えている。
(答弁者 水道局長)

その他の主な項目
温泉の掘削許可申請
函館市の行政課題である港湾振興

岩谷正信議員逝去
病氣療養中のところ2月27日、63歳で逝去されました。

昭和58年に当選以来6期議員を務め、議長などを歴任し、市勢の発展に貢献されました。

総合計画調査特別委員会の調査報告

平成18年3月24日に設置された函館市総合計画調査特別委員会は、これまで10回にわたり精力的な調査研究が行われ、一定の区切りがついたことから、今定例会の最終日に、これまでの調査報告を行いました。

委員会は、合併後初めての総合計画として、今後10年間の市の将来像と、それを実現するための基本方向を定める「新函館市総合計画」を調査する重要な責務を担い、よりよい総合計画となるよう努めてまいりました。

これまで開催された委員会の主な質疑内容は、次のとおりです。

水産振興

質疑 水産業を取り巻く状況を踏まえ、今後どのように取り組んでいくのか。
答弁 水産物の流通過程の中で生産者の意欲が価格に反映されていない実態があることから、付加価値を高めるなど、生産者に恩恵があるような取り組みを行っていききたい。

また、世界的に水産物需要が高まっているが、本市は豊かな水産資源に恵まれており、この資源を持続していくために、資源管理体制の確立に取り組んでいく必要があると考えている。

コンパクトなまちづくり

質疑 コンパクトなまちづくりとして、どのような取り組みをしていくのか。
答弁 人口減少や高齢化社会の時代においては、都市機能を拡散させること無く、既存の社会資本を活用し、コンパクトなまちづくりを



進めていく必要があると考えている。
このことから、既存の商業施設や医療機関等が集積している地点を地区の生活拠点と位置付け、それらの機能を強化するとともに、地区生活拠点への公共交通の充実を図るなど歩いて暮らせるまちづくりを進めていききたい。

新幹線開業を見据えたまちづくり

質疑 新幹線開業を見据え、今後のまちづくりをどのように考えているのか。
答弁 新幹線の開業は地域にとってビックチャンスになると考えており、新幹線効果を見越したホテルの建設も既に進められるなど、地元経済の活性化が期待されているが、一方でストローク現象等の影響も想定しなければならぬと認識している。

開業の時点では、縦貫自

動車道や新外環状道路も整備され交通体系が整うこととなり、陸・海・空の交通ネットワーク機能が強化されることから、経済・観光の振興も含めた効果を最大限発揮できるよう開業を見据えたまちづくり施策を計画に盛り込んでいきたい。

また、新函館駅と現函館駅との鉄道アクセスについては、新幹線利用者の利便性など、快適なアクセスの確保に努めていきたい。

このほか、将来人口や土地利用、文化芸術、教育、福祉、保健医療、生活環境環境保全、産業、交通体系など幅広い分野において質疑が行われた。

また、企画部より、今後の新函館市総合計画の策定に当たっては、本委員会や審議会からの意見、パブリックコメントを集約し、計画原案を策定したいと考えており、今後10年間で想定される主な事業について、施設整備等にかかわる概算の事業費を取りまとめ、示したいとの報告があった。



陳情処理結果

第1回定例会

採択 継続審査 取下げ承認
(前定例会から引き続き継続審査となった陳情は掲載していません。)

件名	受理年月日
安全・安心の医療と看護・介護の実現のために医師・看護師等の大幅増員を求める陳情	平18.5.26
改正まちづくり3法への迅速かつ的確な対応に関する陳情	18.8.1
函館山への登下山道の復活と市有地占拠し営業している業者に対する是正指導の要望に関する陳情	19.3.13